

「我が町のお宝展」 北海道立釧路芸術館で開催中

本展は、釧路、根室管内の市町村コレクションにスポットを当てることで、町の歴史や特色を紹介する展覧会として、北海道立釧路芸術館が主管となり実施するものです。

今回で第4弾となり、別海町のお宝展を下記の期日で開催しております。

郷土資料館から、「加賀家文書等資料」「野付通行屋跡遺跡出土資料」「農業・漁業資料」「各種ジオラマ」などを出展します。お近くにお越しの際は、ぜひ、お寄りください。

○期 日 平成30年9月15日(土)～10月8日(月)

○時 間 午前9時30分～午後5時

○入場料 無料

○場 所 北海道立釧路芸術館フリーアートルーム
釧路市幸町4-1-5 電話 0154-23-2381



ふるさと講座・歴史系第3回目のお知らせ！

「擦文・アイヌ時代～オンネニクルの森を歩こう・野付 1.2 遺跡」

野付半島の自然、森に残された古代竪穴住居跡・チャシ跡を探索しようと思います。

●日 時 平成30年10月14日(日)
午前9時30分～午後0時30分

●場 所 野付半島
集合：野付半島ネイチャーセンター2階

●ガイド 郷土資料館職員
野付半島ネイチャーセンター職員

●定 員 15名・10月12日(金)までに下記の方法
で申し込み下さい(先着順)

●申込方法 電話・FAX・メールのいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。

●その他 気候が変化しやすい時期なので、防寒着、長靴を着用ください。



所蔵資料から振り返る！北海道 150 年、別海町のあゆみ その5 北海道の名付け親 松浦武四郎が記録した別海とは？

今月は、「加賀家文書」を書き残した加賀伝蔵と松浦武四郎との関係を紹介します。

武四郎の日誌などからわかる加賀伝蔵との関係を示す資料は、『戊午第十八巻 東部志辺都誌』『近世蝦夷人物誌 農夫茶右衛門』『戊午知床日誌』などがあります。

安政5年（1858）4月28日か29日に、根室から来た武四郎は、走古丹、ニシベツ（本別海）と渡り、ベツカイ（本別海）番屋で加賀伝蔵に出迎えられました。その後、野付通行屋に2泊し知床への旅へ向かうために伝蔵に土地に詳しいアイヌを人足としてお願いしています。この間、武四郎と伝蔵との間でどんな会話があったかは定かではありませんが、武四郎がこの地方の様子を長年蝦夷地で働いている伝蔵に聞いていたと思われる。その後も二人は手紙などのやり取りを続け、情報を交換していたと思われる。

「加賀家文書」には、武四郎から伝蔵に宛てた書簡が6通あります。

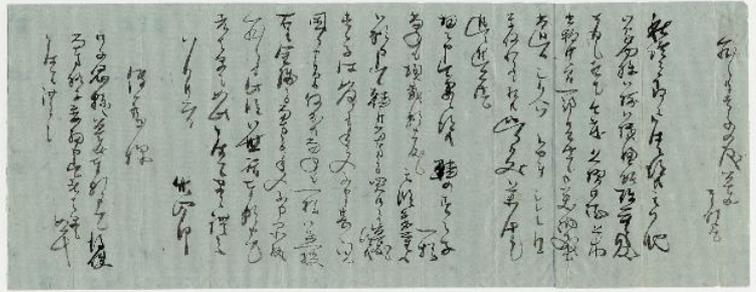
（1） 蝦夷地調査の途中から1通

安政5年4月29日、野付を発った武四郎は、5月5日、知床から伝蔵へのお礼の書簡を送っています。この書簡は、加賀家の旧住宅の襖に張られていた305枚の書簡などの中の1枚です。

（2） 執筆活動を江戸で行っている時に送った文久年間（1861～1864）の5通

- ①江戸では鮭の筋子が手に入らないので送ってもらえるように伝蔵にお願いしている。武四郎の好物と想像できる。
- ②武四郎が出版（日誌類・地図）したものを贈っている。また、出来上がったものは、随時贈ると書簡に書いている。
- ③江戸の様子を書いて伝蔵に知らせている。
- ④蝦夷地のことやアイヌの人々のことを心配し、伝蔵によろしく頼むとお願いしている。という内容に分けられます。

目を引くのは、武四郎は、加賀伝蔵に鮭の筋子を送ってほしいとお願いしているところです。伝蔵が鮭の筋子を送ると武四郎は自分の出版物を伝蔵に送っていたようです。書簡の内容からもわかるように、武四郎と伝蔵の二人の絆を深めた要因には、蝦夷地のアイヌ民族の保護などの共通理解が



松浦武四郎からの書簡

あったことが上げられると思います。場所請負人（商人）関係でこのような交流をしていたのは、加賀伝蔵ただ一人であります。これら、書簡の内容から武四郎とのやり取りは、まだまだあるように思われます。また、贈られた武四郎からの出版物も現在残っている資料の他にあったように思われますが、詳細は不明です。また、武四郎側の資料からは伝蔵の書簡などは見つかりません。江戸の家は関東大震災で焼失したそうで、書簡なども焼けてしまったと思われる。

別海町郷土資料館だより No.231

発行日 平成30年10月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

私の怒涛の9月が終わりました。松浦武四郎展、加賀家文書歴史講座、我が町のお宝展などですが、体が二つ欲しいと久しぶりに思いました。限りなく仕事はありますので、みなさんに沢山のことをお知らせ出来るよう努力していきたいと考えています。(K.I)